

血液製剤（赤血球製剤）の在庫状況について（4月15日現在）

平成17年4月15日現在の各都道府県別の在庫状況について情報提供いたします。通常、献血者の確保が期待でき、手術が少ない週末の後の月曜日は在庫量が増える傾向にあります。今週は、月曜日に在庫量が100%となり、その後も90%台を保っておりました。本日の状況では全国の在庫水準は適正在庫の99%となっております（先週金曜日は74%）。

今回のように週を通じて在庫が一定に保てた背景には、国民の方々のご協力や、関係者の方々による献血の呼びかけへのご協力等によるものと考えておりますが、依然として地域差があり、70%を下回る地域は4ヶ所となっており、また、季節変動等もあることから今後とも気を引き締めて献血推進に取り組んでいく予定です。

なお、長崎県等離島を抱えている県等においては、離島等に備蓄している分を実在庫として計上していないことと等のため、見かけ上在庫率が低くなっておりますが、現在、日本赤十字社と協議しながら、在庫の統一的な考え方について検討しているところですので、ご了承願います。

（注）適正在庫とは、一日の血液使用量の概ね3日分の在庫量をいう。

